



JASDAQ

平成 19 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 アリサカ
代 表 者 名 代表取締役社長 有坂 順三
(J A S D A Q ・ コード 2 3 2 8)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 常務取締役管理本部長 佐野 勤
電 話 0 9 8 5 - 5 2 - 1 3 1 4

平成 20 年 3 月期中間業績予想との差異に関するお知らせ

この度、平成 19 年 5 月 22 日付当社「平成 19 年 3 月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました平成 19 年 9 月中間期の業績予想の差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）の業績予想との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 (A)	5,400	395	260	75
今 回 修 正 (B)	5,554	426	258	153
増 減 額 (B - A)	154	31	2	78
増 減 率 (%)	2.9%	8.0%	0.5%	104.7%
(ご参考) 前中間期実績(平成 18 年 9 月期)	4,638	390	248	45

2. 差異の理由

売上高につきましては、ボウリング事業が当初予想を 87 百万円上回り(当初予想比 23.4%増、前年同期比 41.0%増)、機器の売却を含めたその他事業が 56 百万円(当初予想比 97.2%増、前年同期比 48.7%減)上回ったこと等により、全売上高で当初予想を 154 百万円(当初予想比 2.9%増、前年同期比 19.8%増)上回りました。

営業利益につきましては、平成 19 年度の税制改正による減価償却費の増加等もあり設備コストが増加しましたが、売上高の増加と不効率店舗及び事業部門の閉鎖並びに積極的なコスト削減により、当初予想を 31 百万円上回り、426 百万円(当初予想比 8.0%増、前年同期比 9.3%増)となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業外費用のうち支払利息や受取地代家賃に対応する受取地代家賃原価の増加により 2 百万円減の 258 百万円(当初予想比 0.5%減、前年同期比 4.2%増)となる見込みであります。

中間純利益につきましては、当初予想では中間期において不効率店舗の閉鎖等による特別損失 70 百万円を見込んでおりましたが、契約に関する交渉により閉鎖については下期にずれ込む予定であるため当中間期では 6 百万円となる見込みであります。その結果、中間純利益は 78 百万円増の 153 百万円(当初予想比 104.7%増、前年同期比 234.9%増)となる見込みであります。

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想

通期の業績予想につきましては、現時点では変更ございません。

以上